

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小鳩ナーサリースクールー之江
施設所在地	一之江7-41-15ドエルグリュック 1 階
事業所名	株式会社チャイルドピース

1. 活動のテーマ

<テーマ>

コーナー遊びで広がる子どもの興味関心

<テーマの設定理由>

「子どもが自分で遊びを選び、やりたいことや興味のあることを楽しめる環境」の充実を図ることで、子どもが工夫したり試したりして遊びを楽しみ、興味関心をさらに広げたり深めたりするきっかけとなるようにテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

【第1回】2月25日（火） 3.4.5歳児・異年齢児保育
保育観察 16：00～16：45
カンファレンス 16：45～17：30
【第2回】3月18日（火） 3.4.5歳児・異年齢児保育
保育観察 16：00～16：45
カンファレンス 16：45～17：30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

各コーナーに必要な玩具、素材等を用意し、遊びが発展し深まることの楽しさを味わえる環境を構成した。

- 製作コーナー：空き箱、トイレットペーパーの芯、紙コップ、牛乳パック、テープ類各種など
- 電車やブロックなどのコーナー：ブリオ、ブロック各種など
- ままごとコーナー：キッチンセット、人形の布団、エプロン、小さな手提げバッグなど
- パズルやゲームで遊ぶコーナー：パズル、オセロ、ジェンガ、トランプ、ウノなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・製作コーナーでは様々な素材を遊びにとりこみ、見立てたり組み合わせたりして遊びを楽しむ。
- ・身近な人になりきったり、物を何かに見立てたりしながら、経験したことを遊びに取り入れて自分なりに工夫して楽しむ。
- ・友だちと関わる中でよさに気づき、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

製作コーナーにて、アイスクリームのコーンを画用紙で作り、カラーボールを持ってきてそれを乗せてアイスクリームに見立てていた。カラーボールが転がった先に様々な素材を入れていた箱があり、そこからトイレットペーパーの芯や、牛乳パック、お菓子の空き箱などを取り出した。それらを机の上に並べて立て、カラーボールを転がしてボウリングのような遊びを始める。B児が「何してるの?」と興味をもち、大きいボールを持ってきて「僕にもやらせて」と言う。カラーボールでは箱は倒れないが、大きいボールでは簡単に倒れる様子を見てA児も大きいボールを持ってきた。それまでB児と一緒に遊んでいたC児、D児も「仲間に入れて」と言い、立てる空き箱の種類を増やし、誰がいくつ倒せるかを競っていた。「僕が倒したらAくんが直して」と倒れた箱を戻す役割を決めたり、戻しやすいように箱の一角をテープで止めたりして、ひとつのことをきっかけにどんどん遊びが広がって行く様子が見られ、様々な材料や素材、教材などを置いておくことで子どものイメージが広がっていく様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・様々な素材、材料、教材を用意しておくことで子どもは気付いたり発見したりして、試していることがわかった。子どもの遊びに応じてさらにたくさんの素材や、自然物なども取り入れていきたい。
- ・A児が考えた遊びに興味を示したBくんが遊びに混ざったことで、Cくん、Dくんも遊びに加わり、大きさの違うボールを使うことでAくんが一人で遊んでいる時よりもおもしろさが増していった。
- ・友だちと一緒に遊ぶことで自然とルールを決めたり、役割分担をしたりして、楽しく遊ぶためにはどうするのかを伝えあっていた。保育者は子どもが自ら遊びを広げている時はあえて声をかけずに見守ることを大切にしたい。